

施策評価シート (令和3 年度の振り返り、総括)

作成日 令和4 年 06月 20日

| | | | |
|--------|-----------------------|------|--------------|
| 施策 No. | 17 | 施策名 | 商業の振興 |
| 主管課名 | 商工観光課 | 電話番号 | 0285-83-8134 |
| 関係課名 | 都市計画課、都市整備課、プロジェクト推進課 | | |

1. 計画 (Plan)

| | | | | | | | |
|--------------|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 施策の対象 | 市内の商業・サービス事業者 | | | | | | |
| 対象指標名 | 単位 | 令和2 年度実績 | 令和3 年度実績 | 令和4 年度実績 | 令和5 年度実績 | 令和6 年度実績 | 令和6 年度見込 |
| 商業・サービス業事業所数 | 事業所 | 665(H28) | 665(H28) | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----------------------------|---|----|---------------|--------|--------|---------|--------|--------|---------------|
| 施策の目標 | 市内の商業・サービス事業者の経営が安定するとともに、身近な生活圏での商業・サービスが十分に確保される。 | | | | | | | | |
| 成果指標設定の考え方及び指標の把握方法 (算定式など) | <ul style="list-style-type: none"> ・「年間商品販売額」は、各商店の経営状況を把握する指標として、「真岡市の商業」(経済センサス活動調査結果報告書・平成28年版より)を採用した。 ・「市民が日常の買い物の便利さを感じているか」については、市民意向調査より把握した。 ・「創業者数」は、「真岡新商品開発・販路開拓支援補助金」利用者、及び「真岡市商工振興資金」の創業資金の利用者数を採用した。 ・「まちのステーション整備」は、真岡市新庁舎周辺整備計画の整備スケジュールと事業の進捗状況とする。 | | | | | | | | |
| 成果指標名 | | 単位 | 平成30年度 基準値 | 令和2 年度 | 令和3 年度 | 令和4 年度 | 令和5 年度 | 令和6 年度 | 令和6 年度 目標値 |
| 年間商品販売額 | 目標値 | 億円 | 1,198 | 1,198 | 1,198 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 1200 |
| | 実績値 | | | 1,198 | 1,198 | | | | |
| 日常の買い物の便利さを感じている人の割合 | 目標値 | % | 54.6 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 60 |
| | 実績値 | | | 60.6 | 62.7 | | | | |
| 市の補助制度を受けた創業者数 | 目標値 | 件 | 3 | 5 | 9 | 13 | 17 | 21 | 21(累計) |
| | 実績値 | | | 7 | 10 | | | | |
| 市の補助制度を受けた空き店舗活用数 | 目標値 | 件 | 3 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 12(累計) |
| | 実績値 | | | 5 | 7 | | | | |
| まちのステーション整備 | 目標値 | - | 事業構想策定 | 事業者募集 | 契約・設計 | 設計・建設工事 | 建設工事 | オープン | 事業化 |
| | 実績値 | | | 事業者募集 | 契約・設計 | | | | |
| | 目標値 | | | | | | | | |
| | 実績値 | | | | | | | | |
| | 目標値 | | | | | | | | |
| | 実績値 | | | | | | | | |

| | |
|-------------------------|---|
| 施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担 | <p>商業・サービス事業者は、消費者ニーズを的確にとらえ、販売額の向上に努める。 消費者は地元消費を心がける。 行政は、商工団体等の関係機関と連携を図りながら、市民・消費者に支持される魅力とにぎわいのある商業の振興を図る。</p> |
|-------------------------|---|

2. 実行 (Do) →個別事務事業の実施による (事務事業マネジメントシート参照)

3. 検証・評価と今後の方向性 (Check&Action)

(1) 施策目標達成に対する要因分析と課題 (①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証)

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者への支援策として、次の事業を実施した。

【令和2年度】

- (緊急対策資金融資) 融資総額 418件 30億40万円
- (飲食店支援事業「食ベチケ」第1弾) プレミアム率30% 1万セット 発行総額 6,500万円
- (事業継続給付金: 国の持続化給付金の対象に満たない(30~50%未満) 中小事業者へ法人20万円、個人事業主10万円を支給) 165件 2,470万円
- (感染拡大防止協力金: 休業要請に応じた事業所に対し県が支給した協力金に、市が1事業者10万円を上乗せ支給) 269件 2,690万円
- (感染症予防対策支援金: 感染予防対策を行なった場合、1事業所2万円、複数事業所5万円を支給) 536件 1,201万円

【令和3年度】

- (緊急経営対策資金融資) 融資総額 47件 2億6,463万5千円
- (飲食店支援事業「食ベチケ」第2弾) プレミアム率30% 1万セット 発行総額 6,500万円
- (アクリル板等設置支援金: 市内飲食店においてアクリル板等を設置した経費に1店舗3万円を助成) 108件 272万3千円
- (プレミアム付き商品券発行事業 第1弾) プレミアム率10% 30% 25,000冊 発行総額 3億2,500万円
- (プレミアム付き商品券発行事業 第2弾) プレミアム率30% 20,000冊 発行総額 2億6,000万円
- (ウィズコロナ対応事業所支援補助金: コロナ対策として新商品・新サービスの開発や感染予防対策を行なった場合に、1事業所上限20万円を支給) 265件 1,593万7千円
- (事業継続支援金: 売上が減少し国や県の支援金を受けた事業者に市が法人10万円、個人事業主5万円を上乗せ支給) 193件 1,360万円

・日常の買い物の便利さを感じている人の割合が、目標値57%に対し市民意向の調査結果は62.7%であり、これは買い物支援事業として市内37箇所を巡回する「移動スーパー」が開始されたことや、プレミアム付き商品券や食ベチケなどの販売により市内での消費が喚起されたことの影響が考えられる。

・市の補助制度を受けた創業者数は、「新商品開発・販路開拓支援補助金」(R3:0件)と「商工振興資金(創業資金)」(R3:3件)を利用した件数で、累計9件の目標値に対し10件の実績があり、目標を達成した。制度周知により新たに市内商業を担う創業者を対象とした育成と支援を行った。しかし、新商品開発・販路開拓支援補助金の実績が無かったことは課題に挙げられる。

・市の補助制度を受けた空き店舗活用数は、「まちなか新設出店にぎわい創出支援事業」の改装費補助と家賃補助(R3:2件)の累計6件の目標値に対し7件の実績があり、目標を達成している。3年度に改装費補助の補助率を30%から50%に引き上げ、中心市街地の空き店舗を活用し賑わいを創出するとともに、創業者の支援を行った。

・まちのステーション(複合交流拠点)整備については、事業者選定委員会により選定された事業者と、市議会の議決を受けて契約を締結し、基本設計に着手した。

(2) 今後の方向性 ((1) の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す)

・令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年であり、市内の事業者も、飲食店やサービス業をはじめ、多くの業種において業績が大きく落ち込んだ。支援策として、緊急経営対策資金の創設や各種給付金等による支援を実施したが、いまだ地域経済は回復したとは言い難い。

引き続き、商工団体など関係機関と連携を図りながら、新型コロナウイルス感染症への対策を中心に、各種支援事業を実施していく。

・商業後継者や創業者の育成・支援については、既存の各種補助金や融資制度の周知を十分に行うとともに、商工団体等との連携を強化していく。

・また、中心市街地の空き店舗活用についても同様に、事業の周知、商工団体等との連携を強化し、創業者支援及び空き店舗解消に努める。令和4年度は、門前地区を中心に空き店舗、空き家、空き地の情報共有と現地調査などについて関係部署合同で実施し、今後の取り組みについて検討していく。

・まちのステーション整備については、「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」の機能を併せ持つすべての世代の交流の場となる複合交流拠点として、令和6年度中の開館を予定しており、中心市街地活性化のための拠点となるよう関係部署と連携し整備を進め、商業の振興につなげていく。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

| NO | 総重、総新 戦拡、戦新 | 事務事業名 | 担当 | 成果指標 | | | 評価結果 | |
|----|----------------|--------------------|--------------------|--------------------------|----|----------|----------|--|
| | | | | 成果指標名 | 単位 | 令和3 年度実績 | 今後の方向性 | |
| 1 | | プレミアム付き商品券発行支援事業 | 商工観光課商工業係 | 参加店舗のうち実利用店舗割合(商工会議所) | % | 87.6 | 現状維持 | |
| | | | | 参加店舗のうち実利用店舗割合(商工会) | % | 95.3 | 現状維持 | |
| 2 | | 商店会共同事業推進補助事業 | 商工観光課商工業係 | 商店会数 | 団体 | 9 | 現状維持 | |
| | | | | 補助事業数 | 件 | 2 | 現状維持 | |
| | | | | 補助金総額 | 円 | 521,000 | 現状維持 | |
| 3 | | 商店街街路灯維持管理料補助事業 | 商工観光課商工業係 | 補助を受けた商店会数街路灯管理団体数 | 団体 | 12 | 現状維持 | |
| | | | | 補助街路灯数 | 基 | 410 | 現状維持 | |
| | | | | 補助金総額 | 円 | 979,000 | 現状維持 | |
| 4 | | まちなか活性化協働推進事業補助事業 | 商工観光課商工業係 | イベント回数 | 回 | 0 | 事業のやり方改善 | |
| | | | | 補助金額合計 | 円 | 0 | 事業のやり方改善 | |
| 5 | | まちなか新設出店にぎわい創出支援事業 | 商工観光課商工業係 | 新規出店者数(補助件数) | 件 | 2 | 事業のやり方改善 | |
| | | | | 空き店舗改装費補助金額 | 千円 | 1,200 | 事業のやり方改善 | |
| | | | | 空き店舗家賃補助金額 | 千円 | 1,286 | 事業のやり方改善 | |
| 6 | | 商工団体財政支援事業 | 商工観光課商工業係 | 真岡商工会議所会員数増減(前年比) | 人 | +50 | 現状維持 | |
| | | | | にのみや商工会会員数増減(前年比) | 人 | +4 | 現状維持 | |
| 7 | | 小規模事業者・中小企業者金融支援事業 | 商工観光課商工業係 | 商工振興資金新規貸付件数(緊急経営対策資金除く) | 件 | 136 | 現状維持 | |
| | | | | 緊急経営対策資金貸付件数 | 件 | 48 | 現状維持 | |
| | | | | 中小企業等災害復旧資金利子補給件数 | 件 | 19 | 現状維持 | |
| 8 | 総重 | 複合交流拠点整備事業 | プロジェクト推進課複合交流拠点整備係 | 新庁舎周辺整備基礎調査報告書の作成 | | | 現状維持 | |
| | | | | 新庁舎周辺整備基本構想の策定 | | | 現状維持 | |
| | | | | 新庁舎周辺整備基本計画の策定 | | | 現状維持 | |
| | | | | 事業者募集選定手続き | | 完了 | 現状維持 | |
| | | | | 複合交流拠点の設計建設 | | 着手 | 現状維持 | |
| 9 | | まちづくり推進事業 | プロジェクト推進課複合交流拠点整備係 | 真岡まちづくりプロジェクトの関係人口 | 人 | 5,500 | 事業のやり方改善 | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |